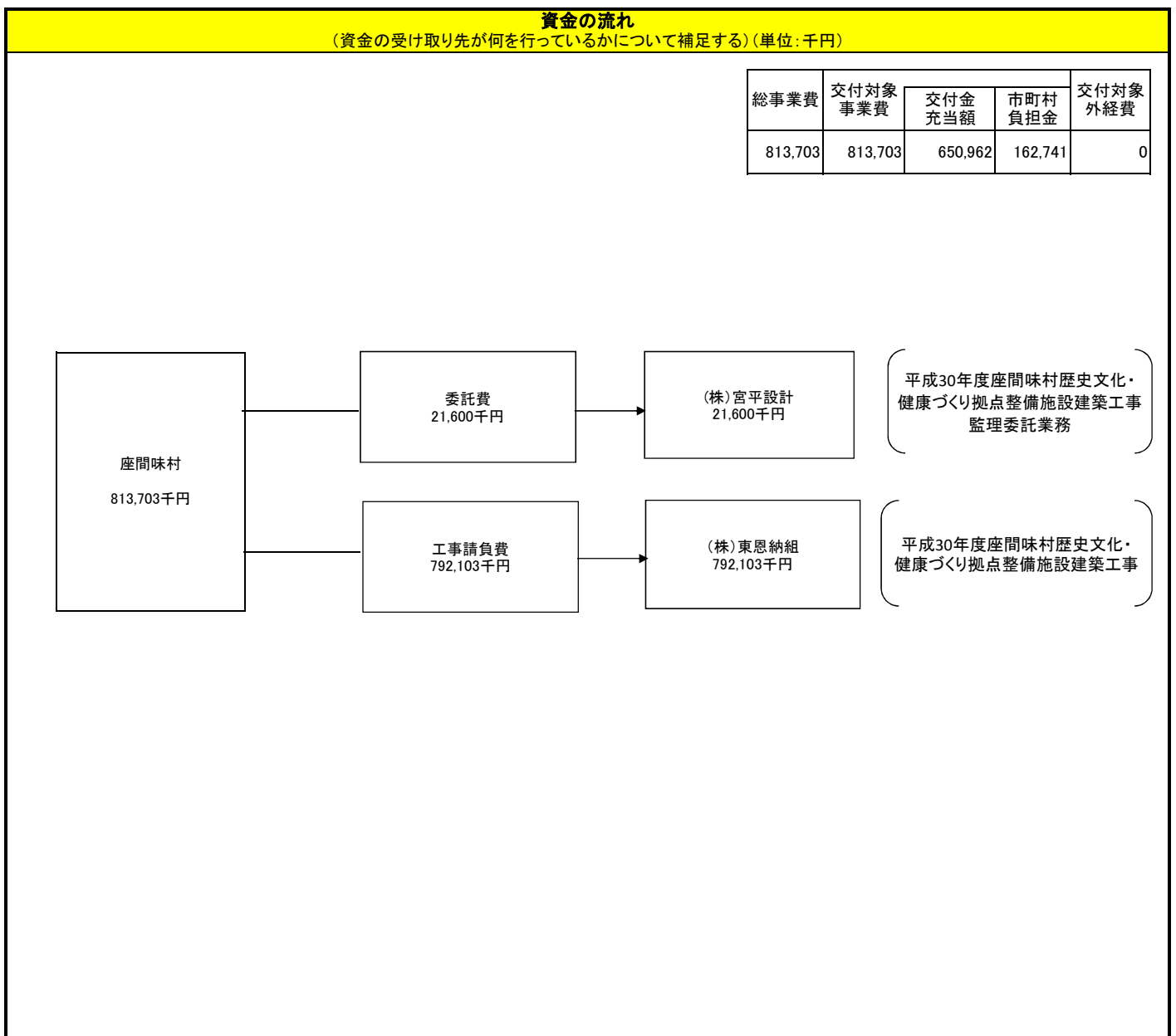


市町村名	座間味村						
平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	座間味村歴史文化・健康づくり拠点整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24~令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	本村の新たな観光客の受け入れ体制の整備と観光誘客を図るため、既存公園内へ歴史文化・健康づくりセンター建築本体工事(集会棟・管理棟・シアター棟)及び建築施工監理の委託を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	67,910	-	825,936		
		(b) 予算現額	67,910	-	825,936		
		(c) 増減額(b-a)	0	-	0	0	
		(d) 繰越額	-	36,288		507,018	
		A. 計(b+d)	67,910	36,288	825,936	507,018	
	B. 執行済額		24,192	36,288	318,918	494,785	
	うち交付金充当額		19,354	29,030	255,134	395,828	
	次年度繰越額		36,288	0	507,018	0	
	執行率(%) (B/A)		35.6%	100.0%	38.6%	97.6%	
予算の状況の説明		建物基礎に使用する先端羽根付鋼管杭は受注生産であるため、工事契約後、早期に注文発注を行ったが、製作会社において当初の想定より受注が集中したため、納期に3ヶ月程度の遅れが生じた。建築工事工程の初期の基礎工事が遅れ、507,018千円の繰越しが生じた。 全体事業費残額12,233千円は、工事監理業務入札残及び建築工事資材単価見直しによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	30活動目標(指標)		達成状況				
	建築工事及び施工監理の実施 (集会棟・管理棟・シアター棟工事)	目標	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		実績	整備一式 (造成・舗装・東屋)	建築工事及び (施工監理の実施)	( )	( )	
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績	整備一式 造成・舗装・東屋	建築工事及び施工 監理の実施			
達成状況説明	平成30年7月に8社指名全社辞退、平成30年8月10社指名全社辞退、積算内容見直しの上、平成30年10月8社指名2社応札し、不落随契により予定価格で契約。当初の発注の遅れや杭の納期遅れにより繰り越すこととなったが、令和2年3月に建築工事一式(集会棟・管理棟・シアター棟)を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	建築工事の完成 (集会棟・管理棟・シアター棟工事)	目標	( )	外構工事の完成	建築工事完成	( )	( )
		実績		外構工事の完成	建築工事完成		
	目標	( )	( )	( )	( )	( )	
	実績						
進捗状況説明	入札不調や納期の遅れの影響により、事業の進捗が遅れ繰越しとなった。施行中においては、受注者に村保有のコテージを宿泊施設として提供したり、建設機材や資材運搬のためのフェリーの予約等の協力を行うなど、工事がなるべく円滑に進められるよう調整し、建築工事を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離島での建築工事に係る入札の不調・不落が続いている。</li> <li>・下請業者の離島単価の高騰により元請業者の積算と差が生じ、下請業者の確保が困難な状況となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離島は、皆同じ状況であるため、近隣離島や沖縄県及び各機関と連携し対策を検討する必要がある。</li> <li>・下請業者の離島単価の高騰により、離島工事の受注を控える業者が多い(入札辞退理由調査結果による)ことから、宿泊費等を必要としない村内の工事業者を紹介する。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<p>離島の建築工事は、不調・不落が続いているが、離島経費の積上、宿泊施設の提供・協力、フェリーでの建設機械や資材の運搬予約協力等を行うことにより、建設業者の離島での工事受注をしやすくする。また、隣接箇所にステージの建設予定があり、事業連携を図りながら確実な事業執行につなげる。</p>		



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事の業者選定は指名競争入札により実施しており妥当であると考え。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、予算額8.25億円に対し、不用額は1,200万円であり適正な規模であると考え。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等、額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		座間味村											
平成30年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】													
事業番号・事業名	1-⑥ 座間味村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(12)-(ア)								
	担当部課名	教育委員会		事業実施（予定）年度 平成29～令和3年度		観光リゾート産業の振興							
				沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-1-(1)							
事業内容		座間味村内に多くの戦跡等が点在しているが、ここ数年にかけて観光客数が増加していく中で、戦跡等を活用した事業や取組が出来ていない。そこで、戦跡及び戦争記念碑等の案内・説明板の設置、記念碑周辺の環境整備を行うことにより、村内の小中学校による平和教育、地域住民はもとより、観光客の方にも座間味村の戦跡等のついて知って頂ける機会となり、修学旅行や団体旅行者にも、平和学習の場として活用することを目的とする。											
効果発現年度		■ 当年度                      ■ 後年度（令和3年度）											
実施方法		□ 直接実施    ■ 委託    □ 補助    □ 負担    □ その他（ ）											
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況	H29年度		H30年度		H30年度（繰越）		R1年度		R2年度			
		(a) 当初予算額	24,955		63,636								
		(b) 予算現額	24,955		59,130								
		(c) 増減額 (b-a)	0		▲ 4,506		0						
		(d) 繰越額	-		-		33,264						
		A. 計 (b+d)	24,955		59,130		33,264						
		B. 執行済額	7,761		25,866		33,264						
		うち交付金充当額	6,209		20,692		26,612						
		次年度繰越額	0		33,264		0						
		執行率 (%) (B/A)	31.1%		43.7%		100.0%						
予算の状況の説明		当初予定していた躑躅の塔の整備において、土地の名義の関係、ダム事務所との調整に時間を要することから、次年度以降へ繰り越すこととなった。また、整備実施箇所変更等により、4,506千円の減額となった。 (当初予定整備箇所：平和の塔、躑躅の塔) (変更後整備箇所：平和の塔、忠魂碑、太平洋戦争沖縄戦上陸第一歩の地)											
活動目標（指標）及び達成状況	H30活動目標（指標）		達成状況										
			H29年度		H30年度		R1年度		R2年度				
	進入路、転落防止柵、案内看板設置及び雨天時対策並びに周辺整備工事の発注及び施工管理委託並びに阿嘉・慶留間島整備に向けた実施設計の発注		目標	( 委託業務発注 )		( 実施設計の発注 )		( )		( )			
			実績	委託業務発注		実施設計の発注							
			目標	( )		( )		( )		( )			
		実績											
達成状況説明		平和の塔の東屋の設置、平和の塔及び忠魂碑周辺環境整備、案内看板・説明板の設置及び次年度整備予定の阿嘉・慶留間島整備設計書の作成を完了した。											
成果目標（指標）及び進捗状況	H30成果目標（指標）		基準値（年度）		H29年度		H30年度		R1年度		目標値（R4年度）		
	座間味島平和の塔・忠魂碑・太平洋戦争沖縄戦上陸第一歩の地における進入路、転落防止柵、案内看板設置及び東屋設置等の周辺環境整備を実施。また次年度整備予定の阿嘉・慶留間島整備の実施設計書の完成		目標	( )		( 完了 )		( 完了 )		( )		( )	
			実績			完了		完了					
	【R4年度成果目標】修学旅行学校数		目標	( )		( )		( )		( )		( 17校 )	
			実績										
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>平和の塔の構内整備及び東屋の設置、看板・案内板の設置をした。</li> <li>東屋の制作会社に受注が集中し、納期に遅れが生じた為、次年度への繰り越しとなり、R1年度に工事完了となった。</li> <li>忠魂碑の構内整備、看板・案内板の整備をした。</li> <li>上陸第一歩の地石碑に説明看板を設置した。</li> </ul>											

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>平和の塔において、東屋を設置したことにより、利用者が快適に利用できるようになったが、駐車場及び遊歩道が未整備となっている。</li> <li>案内板、説明板を設置し、ハード面の環境は整備されたが、平和学習の場として、より多くの観光客や修学旅行生に利用してもらえるような取組が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平和の塔においては利用者がさらに快適に利用できるように、駐車場及び遊歩道の整備が必要である。</li> <li>専門的な説明や案内の出来るツアーガイド等を活用し、平和学習の充実化を図る。</li> </ul>

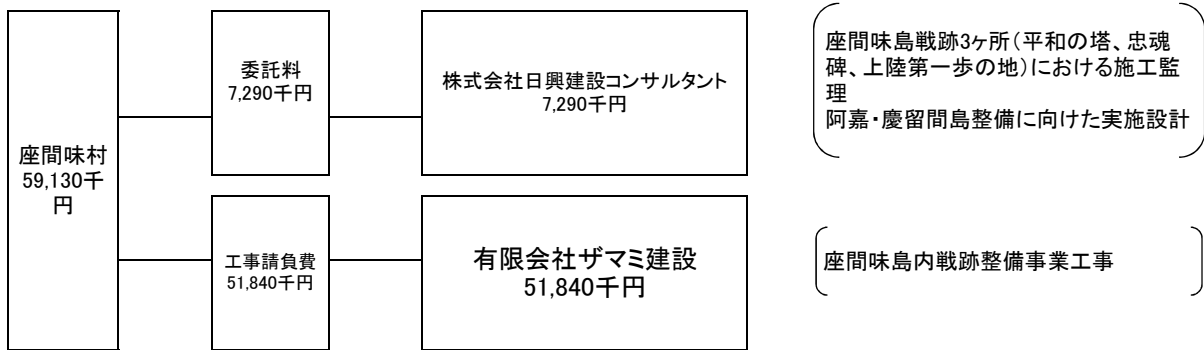
**今後の取り組み方針**

・令和3年度に平和の塔の駐車場及び遊歩道の整備を予定しており、より利用しやすい周辺環境の整備を行う。

・ツアーガイドの活用や観光誘客に向けた観光プラン・平和学習プラン等を作成することで、平和学習の充実化を図るとともに、観光協会や各関係機関と連携し、村ホームページ等で県内外に広くPRすることで、観光客誘客及び修学旅行誘致に繋げる。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
59,130	59,130	47,304	11,826	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
○		支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定を行っており、妥当であったと判断している。 ○不用額はなく、適正な規模となっている。 ○費目・用途ともに精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断できる。
○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
○		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	